

(活動報告書様式)

団体名	美しい山形・最上川フォーラム		
事業名	つなぎたい！つながりたい！陸・川・海 未来の環境を作るのは私たち 海岸漂着物問題啓発プログラムづくり		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：テルス（株）川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	486,896円
		うち助成金額	450,000円



■事業目的 近年SDGsへの取り組みが広がり、マイクロプラスチックや海岸漂着物問題についても関心が高まっているが、特に陸域では、日々の生活と海ゴミのことがつながりにくいとの声もまだ多く聞かれることから、家庭や学校、企業等でも取り組みやすい形を提案し、きっかけづくりと仲間づくりの機会を提供していくものである。

また、より多くの人の目に触れる機会を増やし、様々な団体や企業等の活動に取り入れてもらう必要があることから、啓発資材や動画等のツールを整備し、イベント出展や動画配信等とおして活動内容の見える化を図り、広範な取組みの拡大を促進する。

■実施内容

- ①プラスチックゴミの標本マップの作成
・各地域で参加者を募り、河川上流～海の数か所でゴミの形状の変化やプラスチックゴミの現状、比較ができるマップ（パネル状、WEB上にポップアップ形式のもの）を作成
- ②海岸漂着物問題啓発資材（川海ゴミ・マイクロプラスチック標本、説明パネル、クイズ）の製作
・資材の貸出要望に応えるため、セット数を3個増やした。
・マイクロプラスチック回収体験と併せてイベント等でのブース展示、

出張棚（ズームも活用）と資材貸し出しによる関心の高まり等もあり、特に年度後半から問い合わせや貸し出しの依頼が増え、高齢者や消費者の会の個人や団体、大学や旅行会社等学校や企業と、世代所属を問わず、貸し出しや説明依頼があった。関心の高まりと共に、問い合わせが非常に増えたことから、これまで海洋ゴミ問題に取り組んできた他団体と連携し、海洋ゴミに関するプログラムづくりを行うこととした。当フォーラムは、マイクロプラスチックや海岸漂着物問題啓発資材を、学校の授業や行事、市町村のイベント、企業のCSR活動等に取り入れてもらうことで、SDGsの目標への取組みを推進するパートナーとして、世代や所属を超えて個人から企業、NPO等に至るまで、つながりの機会を提供していくことを目指している。今後も様々な世代や主体とつながりながら、人材育成、パートナーシップの構築を当団体としても取り組んでいく。

出張棚（ズームも活用）と資材貸し出しによる関心の高まり等もあり、特に年度後半から問い合わせや貸し出しの依頼が増え、高齢者や消費者の会の個人や団体、大学や旅行会社等学校や企業と、世代所属を問わず、貸し出しや説明依頼があった。関心の高まりと共に、問い合わせが非常に増えたことから、これまで海洋ゴミ問題に取り組んできた他団体と連携し、海洋ゴミに関するプログラムづくりを行うこととした。当フォーラムは、マイクロプラスチックや海岸漂着物問題啓発資材を、学校の授業や行事、市町村のイベント、企業のCSR活動等に取り入れてもらうことで、SDGsの目標への取組みを推進するパートナーとして、世代や所属を超えて個人から企業、NPO等に至るまで、つながりの機会を提供していくことを目指している。今後も様々な世代や主体とつながりながら、人材育成、パートナーシップの構築を当団体としても取り組んでいく。

- ③YouTubeでの啓発動画の作成
・幅広い世代が興味を持てるような噛み砕いた内容のマイクロプラスチックに関する動画を制作し、夏休みの自由研究などへのテーマとして発信
- ④海岸域と陸域をオンラインでつなぐゴミ拾いの実施
・海岸域と陸域でゴミ拾いを行い、海岸漂着物問題に触れてもらうきっかけを作った。

■事業の成果および今後の展望

【成果】新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、リアルな活動の機会の減少となった昨年だったが、今年にかけてはその分YouTubeの視聴やオンライン等での活動のハードルが下がったことと、これまでより幅広い世代でSNSでの情報収集が増加したことなどにより、活動の内容の幅が広がった。また、リアルとオンライン併用等もできたことで、これまで関心が薄かった層や遠方等新しいつながりも生まれ、広域でコミュニケーションやパートナーシップの構築につながった。当団体が事務局となり上映をした映画「マイクロプラスチックストーリー」が幅広い層に受け入れられたことによる相乗効果、小中高等学校でのSDGs

活動については
こちらから
ご覧いただけます。



<http://www.mogamigawa.gr.jp/>